

～ たぶせの子育て応援団 ～

～ 放課後児童クラブ ～

岡町民福祉課児童係 ☎52-5812

授業の終了後や長期休業中、保護者に代わって子ども達が安心して過ごせる生活の場を提供し、一人ひとりの発達段階や特徴を理解し、児童の健全な育成を手助けする『放課後児童クラブ支援員』。

そこで、町内の放課後児童クラブで働く『放課後児童クラブ支援員』に①『放課後児童クラブ支援員を始めようと思ったきっかけ』、②『子どもたちを預かっている上で大切にしていること』、③『放課後児童クラブ支援員をしてきて良かったところ』についてお話を聞きました。



子どもの居場所づくりを支援していく

① 末っ子が高校生になり時間の余裕ができたため、再度資格を活かした仕事をしてみたいと思っていたときに、出会ったのが放課後児童クラブ支援員の仕事でした。

② 家庭に代わる場として子ども達が安心して安全に過ごすことができる居場所を提供すること、そして子ども達一人ひとりがその子らしく輝くことができることです。

③ 今では我が子と同年代の保護者がたくさんおられ、皆さんが児童クラブの運営に協力的なところなんです。一緒に働く支援員に恵まれ、地域の皆さんにも常に気をかけていただき、応援してもらっています。その他に、子ども達が日々、成長する姿を見ることができるとなると良かったことは、いろいろあります。印象的だったのは3年生で児童クラブを卒所した子どもが、9年後の高校を卒業したばかりの3月に「就職が決まりました。今、車を運転してきました。」と立派な社会人

になった姿を見せに来てくれたことです。

インタビュールにご協力いただいた、田布施西児童クラブ1組支援員の平原さん



① 保育園に勤めていたときに保護者から小学校に上がってからの不安を聞き、いつか放課後の子どものお世話をしたいと思っていました。下の子が手を離れたときに役場から話をいただいたのがきっかけです。

② 『褒めて子どもを育てる』、『基本的習慣を身につける』、

『帰って宿題をしてから遊ぶ習慣を身につける』、『ありがとう、ごめんね、仲間に入れてと言うことができる子どもに育てる』、『1人で悩まず人に話すことで心が楽になることを保育の中で知らせる』このことを大切にしています。

③ いろいろな人から「ちゃんとあいさつをしている。」と聞いたときです。また、たくさんの保護者、子どもと出会い多くのことを学ばせてもらったことです。



インタビュールにご協力いただいた、麻郷児童クラブ1組支援員の小島さん